

発表者

第27回少年の主張下仁田町大会 最優秀賞  
板垣 咲良(下仁田中学校3年) 「私の夢」

親子映画会

下仁田小学校人気No.1映画「ペット」



<2回上映>

- ◆午前の部  
10:40~
- ◆午後の部  
13:00~

上映時間 86分  
各 200 席限定

私たちの知らないところで、  
ペットは何をしているのだろう?

大好きな飼い主・ケイティと暮らす犬のマックスとデューク。街中で迷子になった2匹が、ケイティが帰宅するまでに家に帰ろうと奮闘する。

(C) 2015 Universal Studios.  
All Rights Reserved.

表彰区分	賞名	選考基準
表彰区分	青少年賞	小学生～18歳までの青少年で、明るい社会の発展に尽くし、勇気ある行動、隠れた努力を示す等、他の模範となるもの。 前年度に官公庁が主催する書道・絵画・音楽等、県大会以上で優秀な成績を修めたもの。
	青少年健全育成成功労賞	町内在住または在勤の個人または団体で、ボランティア等で青少年に関わる活動に協力するもの、伝統的文化活動の技術継承に貢献するもので、一定期間継続して活動するもの。(5年以上継続する団体)
	「少年の日」「家庭の日」普及啓発作品コンクール	群馬県では、毎月第1日曜日を「家庭の日」、毎月第1土曜日を「少年の日」と定め、県民運動を展開しており、「少年の日」「家庭の日」の一層の普及・徹底を図ると共に、青少年をよりよく育てるために、この日にちなんだ絵画・ポスター及び標語を募集するもの。

平成29年度

第3回 下仁田町青少年健全育成大会

平成29年7月22日(土) 9:10~

下仁田町文化ホール

次第

第1部 オープニング	(9:10~9:30)
第2部 式典	(9:30~10:30)
1 開会	
2 あいさつ	下仁田町長 原 秀男 下仁田町教育委員会教育長 茂木 学
3 祝辞	下仁田町議会議長 佐藤 勇二 様
4 表彰	(1)下仁田町青少年健全育成表彰 ①青少年表彰 ②青少年健全育成功労者表彰 (2)「少年の日」「家庭の日」普及啓発作品コンクール表彰
5 発表	少年の主張
6 閉会	
親子映画会	午前の部(10:40~ ) 午後の部(13:00~ )

主催：下仁田町・下仁田町教育委員会・下仁田町青少年育成推進員連絡協議会  
共催：下仁田町青少年問題協議会  
後援：下仁田町議会・下仁田町小中PTA連合会・下仁田町子ども会育成団体連絡協議会  
群馬県立下仁田高等学校PTA  
協力：群馬県立下仁田高等学校・下仁田町立下仁田中学校・下仁田町立下仁田小学校

協力者

司会進行

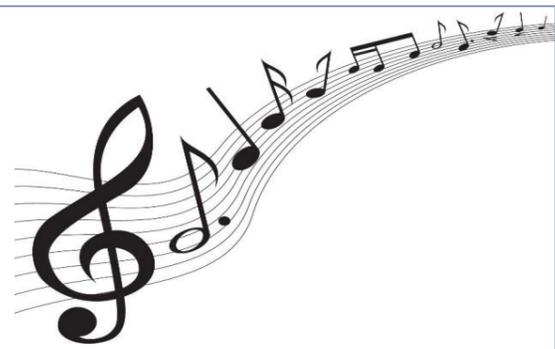
市川 直人(下仁田高校 3年)  
関口ありす(下仁田高校 2年)

作品展示

下仁田中学校美術部  
下仁田高等学校生徒作品

オープニング

下仁田高等学校ダンス部 「Lose My Breath」・「おどるポンポコリン」・「Blessing」  
「Call Me Maybe」・「High School Musical」



表彰者

(敬称略)

区分	氏名	受賞の理由
青少年賞	個人	神宮 湊 平成 28 年度、群馬県児童生徒木工工作コンクールで表彰。
		神戸 光葉 平成 28 年度、群馬県ごみの散乱防止と3Rを進めるポスターコンクールで、最優秀賞を受賞。
		高田 紅音 平成 28 年度、甘楽富岡地区英語弁論大会で優勝し県大会に出場。
青少年健全育成功労賞	個人	田貝 雪政 平成 14 年から平成 17 年までの3年間、下仁田町青少年育成推進員連絡協議会長を務めた。青少推として平成7年から平成 17年までの9年間活動し、青少年育成に尽力した。
		柳澤 博 平成 17 年から平成 20 年までの3年間、下仁田町青少年育成推進員連絡協議会長を務めた。青少推として平成 14 年から平成 20 年までの6年間活動し、青少年育成に尽力した。
		神戸 康全 平成 8 年、小坂地区の子どもたちを集めドッジボールチームを結成し監督を務める。以後、青少年の健全育成に寄与するとともに町の社会教育の振興に務めている。
		瀧上 英明 平成20年4月より青少年育成推進員となり3期9年間の任期替えだが、今回の役員改選でも引き続き継続していただき、更なる活躍が期待できる。
		神戸 真 平成20年4月より青少年育成推進員となり3期9年間の任期替えだが、今回の役員改選でも引き続き継続していただき、更なる活躍が期待できる。
		団体
下仁田自然学校 校長 真野 勝友 下仁田町及びその周辺地域の豊かな自然を活かして、子どもたちと自然観察・探検などを行い、青少年の健全育成に長年携わっている。		

表彰者 (つづき)

(敬称略)

区分	氏名	作品	
「少年の日」「家庭の日」普及啓発作品コンクール (◎最優秀賞)	標語の部	小学生	◎神林 隼 (6年) 食卓は 家族で囲む 宝物
			土谷 佳夢 (5年) 向き合って 心をつなぐ 会話から
			佐藤 孝紀 (6年) かくさずに きょうのできごと はなしあう
			佐俣 敦貴 (3年) 絵もじより 直接見たい あなたの笑顔
			神戸 もも (4年) 決めようよ スマホの時間と 家庭のルール
		中学生	◎青木愛佳 (3年) あいさつは 心を開く メッセージ
			永井 杏 (3年) ありがとう 言葉でちゃんと 伝えよう
			中澤あやめ (3年) スマホより 家族の会話 大切に
			岩田 瑞生 (3年) 文字よりも 気持ち伝える 音や声
			神宮 由佳 (3年) スマホより 家族との時間を 大切に
ポスターの部	小学生	◎佐藤 恵瑠 (1年) いっしょはうれしいな	
		岩松 優歌 (1年) お母さんといっしょにこれから朝ごはんを食べるところです	
	中学生	◎松原 明音 (3年) 家族みんなで楽しく会話などをしている所	
		岡田 采弓 (2年) 一緒に料理	



下小1年 佐藤 恵瑠さん



下中3年 松原 明音さん



下小1年 岩松 優歌さん



下中2年 岡田 采弓さん